

## 施設看取りパンフレット活用の手引き

人生の最期を迎えるにあたって、住み慣れた場所で最期まで暮らしたいと思っ  
ている方はたくさんいらっしゃいます。最期まで施設で暮らせる選択肢があることを知  
っていただき、入所者ご本人やご家族が、旅立ちまでの時間を少しでも安心し、心の準  
備を進めることができるよう、ご家族向けパンフレット「住み慣れた施設で最期まで  
暮らすということ」を作成しました。

### 1. 配付のメリット

本パンフレットには、最期が近づいた時の体調の変化や意識の状態、実際に施設で  
看取られた家族の声などについて記載しています。このパンフレットを用いて説明す  
ることで、看取りに関して、施設でできることや施設で行ってもよいことがわかり、  
住み慣れた場所としての施設で最期まで暮らすという選択肢があることを、ご本人や  
ご家族に理解していただけます。

### 2. 配付方法

窓口において来所者に自由に手に取っていただいたり、施設の指針を説明する際の  
ツールとして使っていただけます。お渡しして説明する場合には、なるべく医師・看  
護師・施設管理者など、専門的な知識をお持ちの方や責任ある立場の方が説明を加え  
ていただくことをお勧めします。いずれの場合も、その後のご家族からの質問や相談  
にいつでも対応できるよう、相談の窓口を決めておく等、体制を整えておくことが大  
切です。

### 3. ご家族の精神的なケア

たとえ役立つものであっても、死を迎えることを前提としたパンフレットを受け取  
ること自体、ご家族にとってつらい体験になることもあります。パンフレットを受け  
取った後も、認めたくない気持ちがあることや、迷い揺れ動く心理があることを理解  
し、心のケアを行うことが重要です。ご家族の反応もそれぞれですので、一律の対応  
ではなく、それぞれのご家族ごとに配慮し、十分なコミュニケーションをとっていき  
ましょう。また、お別れをした後にもつらい気持ちになることがありますので、施設  
でも相談にのれることをお伝えしておきましょう。

### 4. 施設の体制

最も重要なのは、施設で最期を迎えることを希望する入所者に対して施設がどう対  
応をするのか、施設の管理者などがしっかりと方針を決め、職員で認識を共有し、そ  
れをきちんとご本人やご家族に伝えることです。このパンフレットは、それを伝える  
際のひとつのツールにすぎません。施設にできる医療や介護の体制を整備し、ご家族  
が安心して施設で最期を迎えることができるよう対応していきましょう。

また、日頃から施設においては、看取りに関する研修や情報交換を行うなど、施設  
全体で意思の疎通を図っておくことが必要です。

\* このパンフレットは、各施設で応用して施設オリジナル版を作るなど、自由に活用していただいて結構です。  
また、福岡県のホームページにも掲載しています。

(URL <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/zaitaku-mitoripamph.html>)